

## 平成23年度 城山公民館運営審議会 結果概要

1 日時 平成23年8月31日(水)午後2時から午後3時40分まで

2 場所 城山公民館304教室

3 出席者 運営審議会委員8名(1名欠席)  
事務局2名

以下、( )の見出しは事務局による補足

### 4 報告事項

事務局 本年度事業経過ほか説明

(第一地区分館について)

委員 第一地区分館でいちばん困っていることは大会議室。3階にあり和室のため、足腰痛いと困る。椅子でないとお年寄りも困る。

3階を椅子の部屋にしてほしい。

駐車場もない。

(人権同和教育について)

委員 人権同和教育の学社連携はどうなっているか。地域連携はどうなっているか。

学校に関してはほとんど学校にお任せという感じ。地域に関しては、市の人権同和教育課の指導でやっているだけで、住民自治協議会はノータッチ。

城山小学校の研究目標は、相手の立場に立つ、ということで、難しい目標だが一生懸命やっている。子どもはこのような取り組んでいるのに、地域の大人は自分のことだけを考え、相手の立場は考えない。

そんなことも参考にして、城山公民館として人権同和を考えてほしい。

委員 平成23年度事業経過11の施設・設備の管理では、これからもいろいろ手を入れていって欲しい。

(成人学校について)

委員 成人学校の不成立の原因は。

事務局 昨年は本館が使えなかったため、他の公民館などに会場を分散していた。今年度、城山公民館に戻ってきたが、受講生が集まらなかった講座もある。

委員 講座の設定はどのようにするのか。

事務局 ほとんどのものは前年度から続いているもの。「からだ対話するヨーガ」は新たに設定したが、集まらなかった。ひとつでもふたつでも時代の要求に合っているものを作りたい。

(市立公民館と地域公民館について)

委員 市立公民館は同じような講座がいくつかあるが、つながりがあるのか。講座の広報はどのようにしているのか。

事務局 講座を市立公民館同士で調整するという事はほとんどしていない。

広報は、タイミングが合えば館報城山。ひとつひとつの行事は回覧や城山公民館内のポスター、ちらし。週刊長野に載せている公民館もある。

委員 地域公民館の自主性を大事にするのはわかるが、個々にやっているものを、市立公民館として市の立場でネットワーク化していくことが大切なのではないか。

- 委員 市立公民館同士、横の連絡を取れる会議はあるのか。城山公民館の重点目標はこうだと話すような連絡会議なのか。
- 事務局 公民館長会など連絡を取る会議はあるが、市立公民館はそれぞれの特異性がありそれぞれ独自性がある。
- 委員 市立公民館はこうしなさいと市で決まっていると自主性が損なわれてしまう。自主性を持ってほしい。

## 5 審議事項

- 事務局 これから城山公民館のあり方について資料6により説明  
今までは、ある意味、地域への根ざしが浅かったので、これからは地域に根ざした活動をしていきたい。  
今までは、重点目標といいながら抽象的で到達度がかねなかったので、年度ごと目標を設定し達成していきたい。  
地域のみなさんの集まれる施設にしていきたい。  
ただし、成人学校は今までどおり全市対象。全市に目を向けてきたということを開ざすということではない。

(地域に根ざす市立公民館について)

- 委員 農村部では、昔の村役場を中心に公民館は一体というような感じ。
- 事務局 城山公民館の成人学校は特徴的。城山公民館は、市の中央公民館であった経緯から広範囲にとられてきたことが多い。
- 委員 地域性を活かした特徴ある催し。単発でもよい。第一・第二住自協とも協力して催しを考えれば、城山公民館の位置づけになると思う。

(人権同和教育について)

- 委員 「学社連携の人権同和教育」に関しては、住自協で中央の講師をお願いするとかなりのお金がかかる。公民館で事業をやらしてもらえればありがたい。
- 事務局 具体的な事業の実施方法ということになれば、そのとおり討論会・講習会・実習会等としての実施になると思う。

(成人学校について)

- 委員 不成立の講座があるが、また新しい講座を考えるということは、なにか考えているのか。
- 事務局 具体的にはまだ。時代に合ったものを、これから考えていきたい。
- 委員 歴史ブームでもあるし、「長野市史」の講座を作ってほしい。
- 事務局 公文書館にも話してみたい。

(全体として)

- 事務局 住自協の中の事業で、城山公民館として協力できることがあれば共催というかたちで協力させていただきたい。

以上